

タイトル	籐かごを編む～基本と応用～			
学校名	松戸市立松戸高等学校	工芸	氏名	鈴木友理子
教材費	700～800円		実施時間数	20～22時間

1. ねらい

私たちの身の周りにはたくさんの種類の編組工芸がある。竹や蔓植物を用いて作られる「容器」やバッグが一般的だが、最近はクラフトテープを用いた編組工芸の本も多数出ていて静かなブームとなっているようである。

細い蔓を編むだけで立体的な籠ができる感動、基本をマスターすると工夫次第で思い通りの模様、形の入れ物を作ることができる。この課題を1年生の早い時期に体験させるのだが、素朴な工芸の技法に触れ、簡単そうに見えて意外と思いの形には編めないこの課題は、集中力を身につけ、達成感を味わわせることができる。

2. 材料・用具等

籐丸芯 2mm または 2,5mm (1kg 単位で購入できる。丸めて納品されるものより、まっすぐなまま束ねて納品されるものが使いやすい)

定規、ハサミ、千枚通し、洗面器や小振りなバケツ、あればエンマ

クラフト染料 (籐は編む前に 5～10 分水につけて軟らかくするが、これにクラフト染料を混ぜて色水にしておくと籐が染まる)

3. 展開

(1) 《練習》見よう見まねで小さい籠をつくる (10 時間)

はじめは、全員に同じ長さ・本数の材料を渡し、「どうすると籐で籠が作れるか」を、完全に指導者の作るのを「見よう見まね」で作る。本校では、書画カメラとプロジェクターを使って指導者の手元をスクリーンに写しながら一緒に作っている。が、そのような道具がない場合は、ポイントポイントで生徒を集めて実演により解説する。

編み進めていくうちに、堅芯がどのように広がっていくか分かるように、堅芯を染めて使うとわかりやすい。



- なるべく小さい籠を短時間で作りたいが、
- ◎小物入れとして使いやすい大きさ・形であること
- ◎小さいが、底を編み進める間に「増芯」する
- ◎底を編み終わったら、堅芯を直角に立てて

区切りを付け、わかりやすくする

など、このあと各自で設計して大きい作品を作るときに使える編み方を教えておく。

※具体的には、平成 25 年度からの教科書をご覧ください。



初めての籠は、底の中心に大きな隙間が出来たり、底から側面に移る時に上手く立てられず、「ぎる」ようになってしまう生徒もいるが、この《練習》をしておくことで、「自分で設計して作る《本番》」の籠を作るときに、とても上手くなる。

(2) 《本番用の設計をする》(2 時間)

作りたい籠の直径・高さ・模様編みなどを書き込むと、何cmの堅芯を何本用意すれば作れるかが計算できるプリントで、「作りたい籠」を設計する。ここで、どんな籠でも自由に作れることを知る。

学校によっては一から自分で設計するのが難しい生徒もいるので、技法書や指導者が制作しながら撮った写真などで作り方を示し、「見本どおりに作る」ことも選択肢に入れてもよい。この場合も、仕組みを理解するため、設計プリントの記入はする。

(3) 《本番》(10時間)

- ①底の編み方は米字組だけではない。十字組や井桁組、また、編み芯一本で編むだけでなく、追いかけ編みや縄編みで進める方法もあるので、必要に応じて個別指導する。
- ②側面に移ってからの模様編みは、できあがった物を見ただけでは「どう編んだらその模様になるのか」分からないのが基本なので、指導者が事前に研究しておく必要がある。
*生徒に人気なのは・・・素編みのほか、縄編み、矢羽根編み、矢来編み、掛け編みなど。
- ③籠の縁にもいろいろな種類があるが、難易度が同レベルの1～2種類に限定しておくこと、混乱しない。

4. 指導上の留意点

籐かごは単純そうな課題に感じるが、さまざまな工夫をさせたり、見本に忠実に編むようにさせたり、学校ごとのレベルに合わせていかようにも工夫できる。

工芸Ⅰで基本の編み方を行い、工芸Ⅱの中で選択課題にするなどして底が丸いものだけでなく、新教育課程対応の教科書「工芸Ⅱ」で復活する「織物」とリンクして四角い底のもの、楕円のもの、把手(籐でもできるが革で作ってもよい)を付けたもの・・・と、工夫の幅を広げられる。

練習作品を作らせることについて、はじめは時間の無駄かとも思ったが、生徒の成長ぶりが予想以上だったので、毎年続けている。

自由なデザインで設計させると、「簡単に作れるデザイン」に流れる者もいるので、「大きさの最低ライン」を決め、逆に「無理する者」もいるので、「授業の中でできる最高ライン」も決めておく。

側面の模様は、どの高さにどんな模様を入れるか決めさせておくが、編みながら実物を見て臨機応変に「バランスの良さ」を感じとり、変更も受け入れる。



5. 資料・参考文献

『籐を編む』(日本ヴォーグ社) ※絶版になってしまいました